

平成二十八年 度 学 力 検 査

A 国

語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問 題 用 紙

注 意

- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **6** まで、六ページにわたって印刷してあります。
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。
- 四、「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄に受験番号を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。(八点)

- ① 試合で機敏な動きをする。
- ② 金属には光沢がある。
- ③ 人々の熱気が会場を覆う。
- ④ すばらしい景色を眺める。
- ⑤ ひげきの主人公を演じる。
- ⑥ 工事のために立ち入りをきんする。
- ⑦ やせた土地をこやす。
- ⑧ 机を壁によせる。

2

別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十三点)

- (一) 傍線部分①「自分のペースがこわれてしまうのだ」とあるが、この部分を文節に分けるとどうなるか、次の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、自分の／ペースが／こわれてしまうのだ
- イ、自分の／ペースが／こわれて／しまうのだ
- ウ、自分の／ペースが／こわれて／しまう／のだ
- エ、自分の／ペース／が／こわれ／て／しまう／の／だ

- (二) 傍線部分②「悠馬はついてこられないように、一気に前に追いついた」とあるが、悠馬が、ついてこられないように、一気に前に追いついたのは、昂大に対してどのような意図があったからか、本文中の言葉を使って、三十文字以上四十文字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

- (三) 傍線部分③「ない」の品詞として、次の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、形容詞
- イ、形容動詞
- ウ、動詞
- エ、助動詞

- (四) 文中の□に当てはまる言葉を、本文中から四字で抜き出して書きなさい。

- (五) 傍線部分④「ああ。これはたいじょうぶなアクシデントだ。完走できる」とあるが、この言葉から、悠馬は、和弥がどのような思いでいると考えたか、このマラソン大会の競技中に悠馬が感じた、和弥の「強さのわけ」にふれて、本文中の言葉を使って、二十五文字以上三十五文字以内で書きなさい。

(句読点も一字に数える。)

別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十三点)

(一) 傍線部分(1)「すべての動物は、植物を食べて生きています」といえるのです」とあるが、肉食の動物が、植物を食べて生きていえるのはなぜか、その理由を、本文中の言葉を使って、三十字以上四十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(二) 傍線部分(2)「られる」と用法・はたらきが同じものはどれか、次の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、校長先生が、駐車場から歩いて来られる。 イ、学校の図書室では、五冊まで借りられる。
ウ、この言葉は、若者たちによく用いられる。 エ、彼女の言動からは、優しさが感じられる。

(三) 傍線部分(3)「側芽は、頂芽がさかんに伸びているときには伸びません」とあるが、頂芽がさかんに伸びているときに、側芽が伸びないのは、頂芽でつくられる物質がどのように作用しているからか、その物質名を明らかにして、本文中の言葉を使って、三十字以上四十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(四) 文中の□に当てはまる言葉として、次の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、つまり イ、例えば ウ、だから エ、一方

(五) この文章の内容に合うものとして、次の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、ヒマワリのような、発芽してどんどん成長を続ける植物は、葉っぱのつけ根にある頂芽を伸ばしながら、枝分かれしていく。
イ、植物が動物に食べられたとき、食べられた茎の下方に側芽がある限り、一番先端になった側芽が頂芽となって伸び出す。
ウ、頂芽を切り取ったあとの切り口にオーキシンを与えると、側芽の成長を抑制するサイトカイニンがつくられる。
エ、植物たちは、生活の場を移動したり広げたりするために、動物たちに実を食べられないようなくみを身につけている。

(次のページへ) ↑

次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(六点)

餅を好む入道ありけり。医師なりければ、呼びて、好む由を聞きて、主、餅をさせけるが、春く声を聞きて、この入道、「おうお

(注)①

②

③

④

医者だったので

入道が大の餅好きだと聞いた主人が

餅をつかせたところ

この音を聞いた入道が

叫びながら

はてには畳の縁をつかんで

ああ耐えがたい

聞こえないところでおつきへたされ

う」と声を揚げ、おめきつつ、果ては畳の縁に掴み付きて、もだえこがれて、「あら堪へがたや。入道が聞かざる所にて春かせたまへ。

餅をつく音を聞くのは耐えがたくてなりませぬ
 彼の声を聞くは堪へがたく候」と云ひければ、これ程の事は希なれども、人毎に好む事あり。いかに物を好まぬ者も、或は徒らなるを

これ程極端なことは希であるが

人は皆好むものがある

どんなにもを好まない人でも

ある者はつまらないことを

好み、或は昼寝を好む者あり。ある僧は、朝の粥を忘れて食はずして、日関くるまで起きず。「いかに粥をば召さぬぞ」と人云へば、「粥

好み

ある者は昼寝を好んだりする

食えずに

日が高く昇るまで寝ていた

どうして朝の粥を召し上がらないのか

よりも、寝たるは遙かに味の吉きなり」と云ひけり。

寝ているほうが、遙かに美味なものですから

〔沙石集〕による。

(注) 入道——仏道に入つて修行すること。また、その人。

(一) 二重傍線部分①～④の中には、主語が他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(二) 波線部分「食はずして」を現代仮名遣いに改め、ひらがなで書きなさい。ただし、漢字の部分はそのまま使用すること。

(三) 本文の内容に合うものとして、次の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、畳の縁を強くつかんで、もだえていた主人は、餅をついている音を聞いたとき、「おうおう」と大きな声を揚げて叫んだ。
- イ、入道が、餅をつく音の聞こえないところで餅をつかれるのはとても耐えがたい、と主人に言ったようなことは希である。
- ウ、誰もがつまらないものを好むので、ある者は朝の粥を食べることを好んだり、ある者は昼寝をすることを好んだりする。
- エ、朝の粥を食べずに日が高く昇るまで寝ていた僧は、粥より寝ているほうが遥かに美味なものですから、と理由を答えた。

中学生のけんじさんは、総合的な学習の時間に「未来に残したいもの」をテーマにして調べたことを発表することになり、次の「発表原稿」、【資料I】、【資料II】を作成した。これらを読んで、あとの各問いに答えなさい。(四点)

【発表原稿】

私は、世界遺産を取り上げて調べてみました。

日本で、世界遺産を守る活動をおこなっている、日本ユネスコ協会連盟のウェブページによると、世界遺産とは、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえない宝物であり、現在を生きる世界中の人びとが、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産とあります。世界遺産には、文化遺産、自然遺産、そして文化遺産と自然遺産の両方の価値を持つ複合遺産の三種類があります。二〇一四年十二月現在、世界には、文化遺産が七十九件、自然遺産が一九七件、複合遺産が三十一件登録されています。そのうち、日本では、【資料I】のように、A が十四件、B が四件登録されています。

しかし、地震や風雨などによる自然災害や、過度な開発による環境破壊などの理由によって、世界遺産としての価値が危機的な状況にある遺産があります。このような世界遺産は、国際社会全体で優先的に守っていくために、危機遺産リストに登録されます。【資料II】のように、二〇一二年には三十八件、二〇一三年には四十四件、二〇一四年には四十六件の遺産が、危機遺産リストに登録されています。一方で、危機遺産リストに登録されていても、各国の修復支援などによって、その後、危機遺産リストから削除された遺産もあります。二〇一二年には二件、二〇一三年には一件、二〇一四年には一件の遺産が、危機遺産リストから削除されました。

世界遺産は、その遺産のある国によって保護・保全されることが原則です。しかし、世界遺産を保護・保全するための技術や資金、人材が不足している国もあります。このような国に対しては、国際機関や諸外国の政府などが、資金を提供することや修復技術を伝えることが重要であるとわかりました。

私は、これらのこと以外にも、次の世代である私たちが、それぞれの世界遺産が教えてくれる歴史や文化の大切さを学び、その価値を知ることが、世界遺産を将来にわたって守り、さらに次の世代へと引き継いでいくために重要であると思います。

【資料I】

日本にある世界遺産リスト

	遺産名	遺産種別	登録年
1	法隆寺地域の仏教建造物	文化遺産	1993年
2	姫路城	文化遺産	1993年
3	屋久島	自然遺産	1993年
4	白神山地	自然遺産	1993年
5	古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市)	文化遺産	1994年
6	白川郷・五箇山の合掌造り集落	文化遺産	1995年
7	原爆ドーム	文化遺産	1996年
8	厳島神社	文化遺産	1996年
9	古都奈良の文化財	文化遺産	1998年
10	日光の社寺	文化遺産	1999年
11	琉球王国のグスク及び関連遺産群	文化遺産	2000年
12	紀伊山地の霊場と参詣道	文化遺産	2004年
13	知床	自然遺産	2005年
14	石見銀山遺跡とその文化的景観	文化遺産	2007年
15	平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—	文化遺産	2011年
16	小笠原諸島	自然遺産	2011年
17	富士山—信仰の対象と芸術の源泉	文化遺産	2013年
18	富岡製糸場と絹産業遺産群	文化遺産	2014年

(「日本ユネスコ協会連盟」Web ページから作成)

【資料II】

危機遺産リストに登録されている世界遺産の件数

年	件数
2012年	38件
2013年	44件
2014年	46件

(一) 【発表原稿】の中の A、B に当てはまる言葉の組み合わせとして、次の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- | | | | |
|------------|----------|------------|----------|
| ア、A 自然遺産 | B 文化遺産 | イ、A 複合遺産 | B 文化遺産 |
| ウ、A 文化遺産 | B 自然遺産 | エ、A 文化遺産 | B 複合遺産 |

(二) けんじさんは、【発表原稿】の中で、次の世代である私たちが、世界遺産を将来にわたって守り、さらに次の世代へと引き継いでいくためには、どのようなことが重要であると述べているか、【発表原稿】の中の言葉を使って、三十五字以上四十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

6

「方言で話すこと」について、あなたの考えや意見を、あとの【注意】にしたがって書きなさい。(六点)

【注意】

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの体験や見たり聞いたたりしたことを具体的に書きなさい。
- ③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方が正しいが、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。